

## Q&amp;A

## 内視鏡観察が困難な食道憩室内病変

## 【問題】

症例：70歳代，男性。

主訴：黒色便，血痰。

現病歴：約半年前から体調不良にともなう不定愁訴にて受診を繰り返していた。半年で4.5kgの体重減少あり。血痰が持続するため精査加療目的に緊急入院となった。

既往歴：高血圧症，脂質代謝異常症，高尿酸血症，大腸憩室炎。

飲酒歴：ビール 350ml/日，日本酒 2合/日。

喫煙歴：20本 45年間，65歳から禁煙。

来院時現症：身長 163.6cm，体重 59.5kg，脈拍

62/分，血圧 125/60mmHg，体温 36.0℃，頭頸部：異常所見なし，胸部；異常所見なし，腹部；平坦，軟。

血液検査所見：WBC 6800/ $\mu$ l，Hb 12.4g/dl，Plt 28.9万/ $\mu$ l，T.Bil 0.6mg/dl，BUN 24.0mg/dl，Cre 1.37mg/dl，AST 22U/l，ALT 18U/l，CRP 0.65mg/dl，CEA 1.5ng/ml，CA19-9 5U/ml，SCC 2.1ng/ml。

上部消化管内視鏡画像を示す (Figure 1)。

## 診断は？

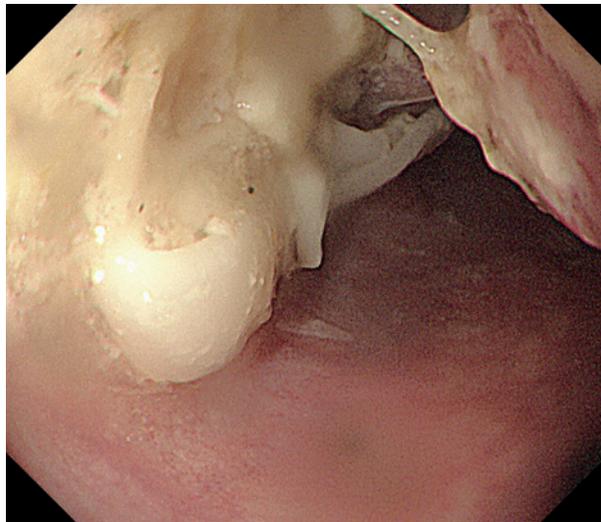


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査：食道憩室内に食残が充満している。